

## 表紙の写真

Air Slider®は2017年2月に第1号の試作機が完成しました。その後改良をすすめ5号機で下水道、農業、電力などのインフラ施設を対象として2019年に約7,000m、2020年に約20,000mの点検調査の実証実験を行っています。現在はFi4という機体の製品が完成しています。



株NJS

## 目次

<b>3</b>	●写真速報 2021年度 非開削技術講習会を開催／NO-DIG 2022ヘルシンキ 国際会議・展示会のご案内	
<b>5</b>	●特集／管内からの調査・探査・診断技術	
<b>6</b>	●特集のねらい	(株)清工業(株) (本誌編集委員) 越智 茂
<b>6</b>	●管診鏡と管路評価診断技術	(一社)管路診断コンサルタント協会技術委員会管路診断システム構築・研究分科会 野村 誉久 藤本 佳嗣 井上 享
<b>11</b>	●水道管内カメラ診断評価マニュアルと管内評価認定制度	(一社)全国水道管内カメラ調査協会・専門会員、東京都立大学都市環境学部都市基盤環境学科・特任准教授 國實 誉治
<b>14</b>	●閉鎖性空間用ドローンによる点検調査	(株)NJS開発本部ドローン開発部長 稲垣 裕亮
<b>18</b>	●柔軟構造探査機「Long-mover」の紹介	管清工業(株)生産技術部設備課主任 長谷川 淳
<b>23</b>	●下水道管路の洗浄と清掃作業で使用されるノズルの役割と種類	(有)ビッグバレイサーサービス取締役企画部長 品田 大蔵
<b>27</b>	●押込みカメラ(アジリオス)による圧送管路内調査技術	(株)コントロール営業促進課係長 佐々木啓至
<b>33</b>	●ARカメラ等を活用した点検調査	(株)NJS開発本部ドローン開発部長 稲垣 裕亮
<b>36</b>	●自由遊泳型管路漏水調査工(スマートボール)改良について	東亜グラウト工業(株)管路グループ工務部 荒木 良二
<b>40</b>	●鉄道線路下埋設管路探査装置「Hekátē」による不明管口探索事例	(株)ジェイアール総研情報システム土木測量プロジェクト担当部長 関根 朝次 技術開発本部土木測量プロジェクト 田村晋治郎
<b>47</b>	●個別施設における新型コロナウイルス感染者の早期検知「京都モデル」とその展開	(株)島津テクノリサーチ環境事業部副事業部長兼分析研究センター長 八十島 誠
<b>52</b>	●談話室 奈良時代への誘い	NTTインフラネット(株)設備本部設備マネジメント部アーバンデザインセンタ技術担当担当課長(本誌編集委員) 西本 和宏
<b>54</b>	●知って得するシリーズ バスのあれこれ 第2編 バスの見分け方(その1)	川崎地質(株)大谷石採取場跡地観測所 大村 猛
<b>59</b>	●UP DATE	
<b>60</b>	●Back Number	
<b>66</b>	●新入会員の紹介 東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株) レジェンドパイプ工法協会	
<b>69</b>	●委員会	
<b>70</b>	●編集後記	東京電力パワーグリッド(株) (本誌編集委員) 村上 貴幸

※特集および投稿記事は、著者の責任において執筆された記事であり、必ずしも日本非開削技術協会の見解ではありません。  
※技術記事などにはキーワードを付与しています。これによりJSTTホームページでの検索ができます。